



ソウルの風

平成29年1月1日

ソウル日本人学校
竹本晴哉

No. 4

鳥取県の皆様、あけましておめでとうございます。ソウルで3回目の新年を迎えました。韓国では、旧暦で新年を祝うため、年末年始も日本のような慌ただしさやお祝いの雰囲気はほとんど感じられません。ちなみに、今年の旧正月は1月28日ですので、その前後が韓国では祝日となりスーパーマーケットや百貨店、街中が日本の年末年始と同様に賑わいます。

さて、今年度も怒涛のように過ぎていき、あっという間に3学期を残すのみとなりました。したがって、私の任期もあとわずかとなりましたが、悔いの残らないよう任務を全うして帰国したいと思います。

現地校との交流

ソウル日本人学校では、小学部1年生から中学部3年生まで、年に2回現地の学校と交流会を行います。1回目は現地の学校を招待する形で行い、2回目は現地の学校に招待される形で行われます。招待するときは、なるべく日本の文化を感じてもらえる交流となるよう活動を工夫しています。逆に、招待されるときは、現地校が韓国の文化を体感できるような活動を工夫してくれています。この交流会を子どもたちはとても楽しみにしており、双方にとって毎回有意義な交流が行われています。今回は、私の担任している小学部3年生の交流を紹介します。



あやとりを教えています。実は、韓国にもあやとりはあるようで、現地の子どもたちと一緒に楽しみました。



福笑いをしています。日本に伝わる伝統遊びを、日本人学校の子どもたちも再確認しながら楽しむことができました。



手作りのすごろくをしています。韓国にも同じような遊びはあるようです。



わりばし鉄砲をしています。私も子ども頃の頃作って遊びました。今でもしっかり受け継がれていますね。



坊主めくりをしています。ルールが簡単なので、現地の子どもたちも楽しんでくれました。



「だるまさんが転んだ」をしています。実はこの遊びも韓国にあると知り驚きました。

その他にも、こま回しやメンコ遊びなど、日本の伝統遊びを紹介しながら楽しんでもらいました。「あやとり」や「だるまさんが転んだ」「メンコ」など、日本と同じような遊びが韓国にもあるというのは不思議ですね。やはり、海を隔てていても隣国であり、つながっていることを再確認しました。

2回目の交流会では、現地校に行き、今度は韓国の伝統遊びを体験しました。



現地校で給食もいただきました。日本人学校はお弁当なので、温かい食事がいただけるのは感動しました。給食にはもちろんキムチもついていました。また、韓国でも人気の「ドラえもん」の歌を韓国語で一緒に歌いました。



交流が行われた体育館には日本語で書かれた横断幕も掲げられており、日本人学校を歓迎してくれました。1回目、2回目とも、両国の伝統遊びを中心とした交流が行われました。遊びを通して交流をする中で、日韓の子どもたち同士が自然と笑顔になり、言葉は十分に通じなくてもしっかりとコミュニケーションを取り合っている姿が印象的でした。日韓の懸け橋となるべく交流を深められたことは、大変貴重で有意義な経験をしているなあと感じました。

農心(ノンシン)工場見学

3年生の社会科の学習で工場見学に行ってきました。行き先は、日本でもおなじみの「辛ラーメン」を作っている「農心(ノンシン)」という会社の工場です。農心は、ラーメンだけでも20種類くらい作っています。また、お菓子もたくさん作っており、スーパーマーケットやコンビニでは、農心の製品がたくさん並んでいます。世界中にその製品は輸出されており韓国を代表する大企業の1つです。今回は、日本人学校から車で1時間ほどのところにあるラーメンを作っている工場に見学に行ってきました。工場の中は、日本と同様にコンピューターでオートメーション化されており、製品の出来上がっていく工程の速さに驚いた子どもたちでした。



代表的な農心のラーメンです。韓国のラーメンは基本的に全て辛いです。ソウルに来たばかりのころは、どれを食べても同じ味にしか感じられなかったのですが、今では、辛さの違いも分かるようになってきました。そして、この辛さに病み付きになっている今日この頃です。

JAL 航空教室

昨年度に続いて2回目となる JAL 航空教室が行われました。これは、子どもたちに夢を抱いてほしいという思いを込めたキャリア教育の一環として取り組んでいるものです。JAL ソウル支店の方のご厚意でこの教室が行われました。当日は、パイロットさんやCAさん、整備士さんなどが来校され、子どもたちに飛行機について、パイロットやCAのお仕事についてなど、大変興味深いお話をしていただきました。子どもたちの目がキラキラと輝いていたのが大変印象的でした。やはり、パイロットやCAは子どもたちにとってあこがれの職業なんだなあと改めて実感しました。



運動会&ワクフェス

前回もお伝えしましたが、1年の中で一番大きな学校行事が運動会とソウル日本人学校ではワクフェスと言っている音楽会です。日本ではなかなか体験することのできない幼小中が合同で行うこの2つの行事は、子どもたちの心にも、私自身にとってもやはり強く印象に残っています。運動会においては、昨年度までと少し違うところは、中学生男子の組体操が無くなったことです。これは、最近様々な方面で議論がされている組体操の危険性が問題視を受けての決断でした。これまで、ソウル日本人学校では、中学生男子によるダイナミックな組体操が伝統的に行われてきました。小学生にとっては、あこがれの的と言えるほど素晴らしいものでした。これが無

